

技術審査証明 10

技術名称 KTB・荷重分散型永久アンカー工法

審査証明取得日：平成 16 年 12 月 24 日

審査証明取得会社：株式会社ケーティービー、黒沢建設株式会社

技術の詳細に関する URL KTB 協会：<http://www.ktb-kyoukai.jp/>

技術の特徴・概要

KTB・荷重分散型永久アンカー工法は、複数の耐荷体を設け荷重を分散させる画期的な構造を、世界で初めて実現した永久アンカーです。荷重を分散することで荷重の局部集中が避けられ、グラウトにひび割れが生じません。そのため、

構造安定に非常に優れた永久アンカーです。また、テンドンに全素線エポキシ塗装 PC 鋼より線（SCアンボンド）を使用することで、長期にわたる耐食性、耐久性がより一層向上しました。

現地での施工状態や技術が活用されている図・写真・コメント等

KTB アンカー + オクトフレーム施工写真



アンカー施工中



施工後半年経過

実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題について

従来維持管理に使用する荷重計には、市販されているものを使用してきました。しかし、頭部が非常に高くなるため、頭部キャップも特注品になるなど高価で景観も悪いものでした。そこで、

ネジ付アンカーヘッドと一体化することにより、通常の頭部キャップがそのまま使用できる安価で景観の優れた「ナットゲージ（仮称）」を現在開発中です（H20 年 4 月予定）。

技術のアピールポイント、得意とする現場条件や施工法と比較して有利な点など

荷重をアンカー体長全体に分散することで、一局集中型（引張型、圧縮型）にくらべ、周面摩擦抵抗値（ τ 値）の低い地盤にも確実に定着できます。

テンドンが軽量でフレキシブルであるため、扱いやすく、足場上などの狭い場所での施工にも対

応できます。

テンドン構成が簡易であるので、削孔中に定着地盤を確認しながら現場で加工組立が容易にできます（テンドンの加工は、工場でも現場でもどちらでも対応できる）。